

フレッツに賭けるNTT東西 巻き返し策は整ったか？

フレッツ・ADSLで200万回線、Bフレッツでも100万回線——。NTT東西はサービス拡充と、営業戦略の強化を進め市場奪回を目指す。

「音声通信からIPへの流れが加速している。光、ADSLの積極的な需要開拓とIP網の県間拡大に伴うサービスの広域化、そしてグループ全体の連携によって、ブロードバンドサービスへ層注力していく」——2月28日、NTT東日本の三浦惺社長は、2003年度の事業計画公表の会見の席上でブロードバンドサービスに対する取り組みに強い意志をみなぎらせた。

NTT東西の2003年度事業計画は、「電話からIP」へのシフトが鮮明に打ち出されたものとなった。

その背景には歯どめのない音声収入の減少がある。それをフレッツシリーズを主力とするブロードバンドサ

ービスで補っていかうというわけだ。

事業計画のポイントを見ていこう。2003年度の営業収益は、NTT東日本が2兆1990億円、西日本が2兆1230億円、合計で4兆3220億円。2002年度見込み4兆6480億円からマイナス2140億円(5%減)と昨年に続き減収は避けられない見通しとなっている。

この大きな要因となっているのが音声伝送サービスの収入減だ。2003年度の音声伝送サービスはNTT東西合わせて2290億円という大幅マイナスの2兆8520億円を見込んでいる。

そして、この収益減をカバーしていくための主軸となるものがIP系サ

ービスで、東西合わせて1380億円増の3020億円という音声伝送サービスの減収の半分以上を補う計画となっている。特にIP系サービスの中でも柱として据えられたのが「フレッツ・ADSL」と「Bフレッツ」だ。

フレッツ・ADSLはNTT東日本が110万回線、NTT西日本が90万回線の計200万回線の純増、BフレッツもNTT東西ともに50万回線、合計で100万回線の純増という計画が打ち出された。

特にBフレッツは、2002年度の予想実績がNTT東西合わせて約22万回線という数字であるため、5倍増という意欲的な目標となっている。

音声収入の減少が継続する中で、

NTT東西は、フレッツ・ADSL、Bフレッツを“次世代通信サービスの担い手”として独り立ちさせるために本格的な取り組みを開始したわけだ。

苦戦を強いられた2002年度

しかし、ブロードバンドサービスの普及に伴い、事業者間競争はより激しさを増している。2002年度のシェア獲得競争は熾烈さを極めた。

まずフレッツ・ADSLでは、Yahoo!BBの攻勢によって加入者の伸びに抑制がかかった。

Yahoo!BBは、12Mbpsサービスのいち早い提供と回線・プロバイダー料金を含め2000円前後という価格設定、さらに拡販策として、「パソコン隊」による街頭や量販店におけるADSLモデムの配布という前代未聞の強力なキャンペーン活動で、市場を席巻していった。

2003年1月では、NTT東西の新規加入者合計が約12万だったのに対して、Yahoo!BBは28万という数値をたたき出し、NTT東西は大きく水を開けられてしまった格好となった。

一方、Bフレッツでも当初計画の60万回線に対して二度の下方修正を余儀なくされた。その理由には

「提供エリアが狭い」「高額な利用料金」「引き込み工事等の遅れ」等がある。

こうした状況に対してNTT東日本の古賀哲夫常務は、「過去の出遅れを鑑み、他社に負けないための策はすべて打った」と今後の巻き返しに自信を見せている。

2003年度を迎え、NTT東西ではどのような施策をもって最重要ミッションとなるフレッツサービスのシェア拡大を実現していくのか。

ここでは、サービス面と営業面の2つの側面から探っていく。

2カ月無料キャンペーンが奏功

はじめにサービス面での各フレッツサービスの強化策を見ていこう。

NTT東西は99年のADSLの試験サービス開始から4年、提供エリアの拡大に加え、高速化メニューの投入、料金値下げとサービス拡充を図ってきた。

まずフレッツ・ADSLだが、2002年度においてサービス提供エリアを東日本地区で約93%、西日本地区で約92%と、ほぼ国内の全域に行き渡らせた。

また、高速化の面でも昨年11月、

12Mbps対応の「フレッツ・ADSLモア」の提供を開始するとともに、料金を3200円から2700円に値下げし、プロバイダー料金も含めて3000円台まで引き下げ、他社とほぼ同様の料金体系とした。

加えて、料金面での競合他社への対抗策を拡充している。期間限定による「無料キャンペーンの展開」だ。NTT東西ではそれぞれ、2月1日～4月30日までの3カ月間「フレッツ・ADSL」を新規に申込んだユーザーを対象とした「2カ月無料キャンペーン」(NTT東日本)、「いまだた割引」(NTT西日本)を実施している。

これは対象期間中に「フレッツ・ADSLモア/8Mタイプ/1.5Mbpsタイプ」を新規申込みしたユーザーに対して、「月額利用料」「機器利用料」「ADSL屋内配線利用料」の各利用料の合計を2カ月間無料とするものだ。NTT東日本・営業部光IP販売推進室光IP商品担当の滝澤正宏担当課長は、「販売面でかなりの手応えを感じている」と語るように、数値上の実績にも現われているようだ。

さらにNTT東日本では4月9日、「フレッツ・ADSL8Mタイプ/1.5Mタイプ」について「2カ月無料キャン

図1 ADSLサービスの加入者状況

